

ワーキングネットワークにもっと支援を!

市議会厚生常任委員会と関係団体が意見交換

障がい者自立支援をめざし、頑張っている上越ワーキングネットワーク（吉田健一代表）と市議会厚生常任委員会との意見交換会が7日、行われました。同ネットワークの現状を知り、これからの課題を探るのが目的です。

上越ワーキングネットワークは2010年4月、「市内の障がい者の自立を支援する事業所が連携し、業務の開拓と効率化を進めることで工賃向上を目指す。そして各々のノウハウや情報を交換することにより、人と人が互いに活かし合う地域社会づくりに資するための仕事と人材（財）を生み育てることを目的」にして設立されました。現在、「板倉ふれあい工房」「かなやの里ワークス」「北さくら工房」など17施設が加盟しています。

この日の会には、同ネットワークから吉田代表など10人が参加し、まず現状を報告しました。厚生常任委員からは、「ネットワークは他市でもあるのか。そこでの交流はあるのか」「10年前と比べ工賃は上昇しているか」「今後、仕事が



増えていくことが予想されるが、受けられるのか」などといった質問がだされました。同ネットワークの参加者からは、「障がいの程度によってできる仕事とできない仕事がある」ことや工賃がなかなか上がらない状況などが明らかにされました。

行政への要望も出されました。主な要望は、「受注した事業所に補助金が出れば、手を挙げるところはもっとあるので支援してほしい」「仕事があっても、事

業所からの距離が遠いところもある。そういったところには移動代、燃料費がほしい」「作業に使う手袋などへの補助があると助かるのでお願いしたい」などです。行政側にはこうした要望をしっかりと受け止めてほしいですね。



【バラ】バラ科の低木。漢字で、「薔薇」と書きます。冬だというのに、庭木に寄り添うように咲いているピンク色のバラの花を見つけました。吹雪いたときに、雪の下になったり、凍ってしまったり…。でも、頑張って花を咲かせている姿を見ると感動しますね。花言葉は、1本の場合は「ひとめぼれ」「あなたしかいない」など。写真は吉川区代石にて。



直江津の「ライオン像のある館」で行われているライブを今年になって初めてのぞいてきました。井上陽水の「氷の世界」、さだまさしの「主人公」などの名曲が川合徹人さん親子の澄んだ歌声で披露されました。素敵でした。

議会報告とお楽しみの集い

久しぶりに市議会報告の集いを行います。当面する第三セクター問題などの市政の重要課題などについて報告し、市民の皆さんのご意見をお聴きできればうれしいです。また、馬場ひでゆき弁護士もかけつけ、県政について語ります。新春でもありますので、歌や南京玉すだれも楽しみたいと思っております。ぜひお出かけください。入場は無料です。

2月18日(土) 午前10時から12時
会場・吉川多目的集会場2階

はしづめ法一の活動レポート

No.2097 2023.2.12

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
←こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七四四回

ウサギの訪問

一月下旬のある日の朝のこと、外に出ようと玄関の戸を開けてびっくりしました。玄関前を横切るようにウサギの足跡があったからです。

近年は山間部へ行っても、ウサギの足跡に出合うことが少なくなりました。特に今冬は、ウサギの足跡は山間部でも二回しか見ていません。おそらくウサギの数そのものが少なくなっているのだと思います。

そんな状況なのに、平場のわが家の庭先にウサギがやってきたのです。偶然とは言え、ウサギがやってきたのは、わが家に何か用があったのではないかと、ひよっとすると、今後、思わぬ展開が待っているかも知れない。私は不思議な物語の世界に入ったような気分になりました。

どうあれ、夜中、あるいは明け方、平場の民家周辺に野ウサギがやって来たことは間違いありません。足跡が残っていたのですから。

私は、すぐにその足跡を撮りました。そしてフェイスブックで、「玄関の戸を開けてびっくり。夜にウサギが来たようです。声を掛けてくれれば、あたたかいところに入ってもらったのに……」というコメントをつけて発信しました。

それを見た人々からは、「ウサギの足跡可愛い」「どうやって来たか来てくださいませんか?」「ウサギがいるんですね〜ビックリ」「もしかしたら、うちのうさぎちゃんかも」などといったコメントが寄せられました。

私の発信を見た人たちの多くは、ウサギがわが家のそばまでやってきたことに驚きました。それは、私だけではなく、この人たちにとっても予期せぬ出来事だったのだと思います。

じつは、わが家へウサギがやってきたのは今回が初めてではありません。数年前までは、近くの里山にはたくさんの足跡があ

り、わが家の庭に足跡を残したこともあったのです。それが最近、この里山でもめったに見られなくなっています。

私の発信を見て、昔のことを思い出した人もけっこうおられたようです。現在は直江津在住のTさんもその一人です。

先日、Tさん宅を訪ねた時、ウサギの足跡の話から子ども時代の外遊びの話に発展し、「昔、ウサギを捕まえようとしたがうまくいかなかった」などと語ってくださいました。それに応じて、私も近くの仲間とともにウサギやヤマドリ足跡を追いかけたこと、その途中、スキーをはいたまま川に転落したことがあること、ウサギには通り道があることなどを話しました。昔はそれほどウサギとの関わりがあったのです。

さて、わが家にやってきたウサギの話ですが、一回で終わりませんでした。最初に足跡を見つけた日から五日後の朝、また、ウサギがわが家の庭にやってきたのです。足跡をよく見たら、前回とは違って、二ルートあることがわかりました。そのうちの一つは、前回とほぼ同じルートですが、進行方向は前回とは逆で、座敷脇から西側の庭木の方へ跡がついていました。もう一つは庭山から平の場所へ下りてくる足跡になっていました。

一見、複雑そうに見える足跡ですが、二つのルートとも同じウサギの足跡だと私は感じました。そしてこれは第六感ですが、ウサギも前回と同じだと思いました。

この私の「判断」をフェイスブックで発信したところ、今回も「橋爪さんを尊敬訪問したのでは」「素敵です」「お話の世界です」などのコメントをいただきました。

この調子だと、ウサギの訪問はまだありそうです。今度、玄関のところまで来て、ウサギの足の動きが止まったら、それこそ、本当に「ウサギの訪問」の物語が誕生します。雪の降った後の朝が楽しみです。

雪が降っても風が吹いても

直江津の朝市、三ハ市のこの時期は寒く、風も吹きやすいこともあって、お店を出る人がぐんぐん少なくなります。

それでも毎回のよように頑張っている人が何人かおられます。イラストの女性もそのひとりです。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月1日(水)	2月8日(水)
上越南消防署	0.057	0.050
上越北消防署	0.033	0.043
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.063	0.063
東頸消防署	0.037	0.040
名立分遣所	0.063	0.050
高士分遣所	0.053	0.053

専敬寺の掲示板

仙教詩人、榎本栄一(えのもと 栄一)の言葉。まやにこの通り、こんな気持ちで一日を過ごしたいですね。安塚区小黒の専敬寺の掲示板。

